

茨城県笠間市笠間 978-4  
公益財団法人 日動美術財団  
笠間日動美術館

人間 鴨居玲  
—カメラが捉えた画家の素顔—  
2026年10月3日(土)~12月20日(日)



《私の話を聞いてくれ》1973年



拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。来秋、表記展覧会を開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

## ■開催趣旨

「自画像の画家」と称され、自己投影の作品を描いた鴨居玲。作品には鴨居の内面が表現され、見る者の感情に訴えかけてきます。一方、作品からは見えてこない「人間 鴨居 玲」も存在します。

鴨居玲とはどのような人物だったのでしょうか。これまでその多くが未公開だった、素顔が写る貴重なポートレートから、「人間 鴨居 玲」を紐解きます。

スペイン、ラ・マンチャ地方の小村、バルデペーニャスにおける村人たちとの交流や、親しい友人たちと過ごすひととき、そして作品に向き合う画家の姿を、カメラは赤裸々に捉えています。この度は、作品約 60 点、富山栄美子撮影写真を中心に約 75 点の写真で構成します。



《アイロン(おばあさん)》



《自画像(絶筆)1985年》



## 《鴨居玲》

1928年、金沢に生まれる。金沢美術工芸専門学校（現在の金沢美術工芸大学）で学び、洋画家宮本三郎に師事。1959年に初渡欧。1965年、単身ブラジルに渡り、パリ、ローマにそれぞれ1年近く滞在し帰国。1969年、第4回昭和会展に初出品で優秀賞を受賞。同年、安井賞展で安井賞受賞。1971年から1974年までのスペインでの生活で多くのモチーフを得る。1974年、パリにアトリエを構え、パリ、ニューヨーク、日本で多くの個展を開催。1977年、パリを後にし、神戸に居を構える。

個展や画集出版など順調であった反面、環境の違いから制作には焦燥感を抱くようになる。やがて本質的な自画像の制作に取り組み、名作を生み出すが、自身の心身を痛める結果となり、1985年9月に急逝。

## 《富山栄美子》

写真家。1941年、ロシア人を父、日本人を母として、東京で生まれる。女子美術大学付属高校から写真の専門学校に進み、スポーツニッポン（スポニチ）のカメラマンとなった。鴨居玲のパートナーとして生涯を共にした。鴨居と出会った66年から自死した85年までの素顔を写した。各国をまわって写真を撮っていた富山は、フランスで38歳の鴨居と出会う。『『くらいなあ』という印象をもちました。この暗さに興味をもち、写真を撮らせてもらうようになりました』（富山）。安井賞受賞の69年、パリで再会。その後、71年からマドリッドで生活を共にし、77年に帰国。神戸にアトリエを構える。

## ■展示作品

初期から晩年の作品まで、「人間とは何か？」を問い続けた鴨居玲の画業を写真とともに辿ります。



《裸婦》



《長谷川智恵子像》1974年



《教会》1976年



《画帳 No.12(チータ)》



《老人の顔》虫歯



《襖絵(首吊り)》《襖絵(自画像像)》



## ■フォトスポット

鴨居のアトリエを訪ねたり、描かれた人物と会話をしたり、愛犬、チータとツーショットを撮ったり、鴨居ファンならずともお楽しみいただけるスポットです。



## ■展覧会概要

会期：2026年10月3日～12月20日(日)

会場：笠間日動美術館 企画展示館（茨城県笠間市笠間 978-4）

開館時間：9時30分～17時（最終入館は16:30まで）

12月からは10時～16時30分（最終入館は16時まで）

休館日：月曜日（10月12日、11月23日は開館、翌日休館）

入館料：大人 1300円、65歳以上 1000円、大学・高校生 900円、中学生 300円、小学生 無料、

20名以上の団体は各200円割引 障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は半額割引

主催：公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館

後援予定：茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／NHK水戸放送局

茨城放送／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／共同通信社水戸支局／産経新聞社水戸支局

東京新聞つくば支局／毎日新聞社水戸支局／読売新聞水戸支局

担当：学芸部 大友 otomo.nichido@gmail.com

管理部長 亀山 k-museum@nichido-museum.or.jp

## ■会期中のイベント

対談会「鴨居玲との17年」

講師：当館名誉館長 長谷川徳七、副館長 長谷川智恵子

日時：10月3日(土) 14時から約1時間

場所：企画展示館2階

フランス館ギャラリートーク

日時：10月10日(土) 14時から約30分

場所：フランス館2階

鴨居ギャラリートーク

日時：11月3日(火)、12月5日(土) 各日14時から約30分

場所：企画展示館

## ■同時期開催

没後40年 梅原龍三郎展 それは、ルノワールより情熱的か？

会期：10月10日(土)～12月6日(日)

場所：長谷川仁・林子記念室

## ■次回展

ねこ写真家 関由香 ねこと一緒に、今日もいい日。

会期：2027年1月2日(土)-2月28日(日)

## ■交通案内

### 【JR利用】

- ・水戸線笠間駅より2km、徒歩30分、レンタサイクル約10分
- ・かさま周遊バスという笠間市内を周遊しているバスがございます。詳しくは観光協会HPへ。

### 【自動車利用】

- ・常磐道友部JCT経由、北関東道友部ICより国道355号線経由約6km
- ・東北道栃木都賀JCT経由、北関東道笠間西ICより国道50号線経由約8km

以上